

## 八海山山行報告書

(山域) 越後三山

(コース) ロープウェイ山頂～女人堂(浅草岳)～薬師岳～千本檜小屋～大日岳～ロープウェイ山頂

(日時) 7月9日(土曜日)

(天候) 曇りのち小雨

(山行タイム) ロープウェイ山頂 8:15～女人堂 9:10～薬師岳 10:00～千本檜小屋 10:10/11:40～  
大日岳 13:30～千本檜小屋 14:45～ロープウェイ山頂 16:35

(参加者) CL:内堀(記録)・SL:小宮山・佐藤・宮城

(山行報告)

金曜日の夜、小宮山車が千葉駅で佐藤さんを回収して、船橋駅にて内堀・宮城さんを回収、私は盛岡出張帰りのため、船橋駅にて待ち合わせすることにした。サウナに入り着替えた。何時もの通り、湾岸線千鳥町ICから入り、首都高・外環道を進み、関越道に入り、途中上里SAにて休憩して、一気に塩沢石打ICで降りた。途中コンビニに寄り、酒・朝食・行動食を購入して道の駅「南魚沼」でテントを張った。途中より小雨が降り丁度良い屋根がある場所でテントを張ったため、濡れる事はない。軽く宴会を行い2:00過ぎに就寝した。朝起きたらやはり小雨交じりである。テントの撤収・朝食を頂く、7:00頃になると雨も上がり、先週のように山の上は天気を期待して、八海山ロープウェイ山麓を目指す。やはり、山麓駅に着いたら雨は上がり登れそうである。8:00一番のロープウェイに乗り、山頂駅に到着する。ロープウェイ山頂からの天気は曇り、周りは雲海が見える。雨は降っていない。本日の天気は曇りでお昼頃、小雨交じりの予報であったため、出発する。緩い登りが続き、途中、アップダウンがあり、四合半の表示を抜け傾斜が少し強くなり、六合目の女人堂(浅草岳)に到着した。軽く休憩を取り、先を急ぐ。ここからは、勾配が強く息を切らせながら登ると薬師岳が現れた。先には千本檜小屋があり、写真撮影後は、すぐさま、小屋を目指す。小屋に到着すると同時に雨が降り始め、小屋と小屋の間に避難する。中々収まらないなと思いつつ、200円を払って休憩することにした。グズグズしているうちに時間が過ぎ、屋前に止まないと下山しようかと思った矢先に、天候が回復して、小雨状態になる。出発の準備を行う。ここから先はバリエーションルートのため、念のため、ハーネス・ヘルメットを着け出発。直ぐに地藏岳・不動岳を通過する。更に進むと、七曜岳を登り終え、下りでロープを出し、懸垂下降で降りた。摩利支岳の登りだったと思うが、いやらしい登りがあり、ロープを出して登った。無事、大日岳に到着するものの、剣ヶ峰・釈迦岳を見逃したようである。八海山はこの八個の山から来た由来である。

(地藏岳・不動岳・七曜岳・白川岳・釈迦岳・摩利支岳・剣ヶ峰・大日岳)

大日岳でご夫婦に抜かされ、我々は、大日岳から懸垂下降で降りて、更にその先は鎖場を降りると、迂回路に出た。ここから迂回路に進み、千本檜小屋を目指す。いきなり、長い階段を進み、トラバース道が何回か出てきて、50分弱で千本檜小屋に到着した。トイレ休憩して、ロープウェイ山頂を目指す。女人堂まではかなりの急坂を駆け下り、女人堂からは長い道のりを超えると、ロープウェイ山頂駅に到着した。最終の1本前のロープウェイに乗り、無事到着した。

途中小雨交じりの山行となり、服・靴も濡れてしまった。久々の雨山行となってしまった。

下山後は、六日町の湯らりあで汗を流し、駅前のあさひ食堂で夕食を食べ、帰葉した。

追伸

私以外の三名は今週よりスイスアルプスへの山行の予定である。巻機山・表妙義・富士山2回、白馬岳と今回の八海山で締めくくりであり、少し早くになったのだろうか？

スイスアルプス山行の朗報に期待したい。



